

## 令和6年度公益財団法人日本バレーボール協会公認B級・C級

### 審判員資格取得審査会実施要項

#### 1 目的

本審査会は、鹿児島県バレーボール協会及び本協会加盟団体等において主催等する大会に審判員として活動する者を、公益財団法人日本バレーボール協会公認B級・C級審判員として資格審査することを目的とする。

#### 2 主催

鹿児島県バレーボール協会

#### 3 受験科目

6人制バレーボール・9人制バレーボール・ビーチバレーボール

#### 4 申込方法

所定の様式により、鹿児島県バレーボール協会のホームページにて申し込みの受付を行う。

#### 5 受講費

5,000円（資料代・ルールブック代）

#### 6 日時・会場

鹿児島県バレーボール協会のホームページにて別途案内する。

#### 7 審査方法

講義、実技、筆記

##### ○B級資格受講者

実技試験は、コントロールシート(主審・副審)を用いて評価を行う。

##### ○C級資格受講者（高校生以上）

実技試験前に、試合の一連の流れ（吹笛・ハンドシグナル等）を説明する。

試合中であっても講師は適宜指導を行う。

#### 8 持参するもの

筆記用具、ルールブック、ホイッスル、審判服（C級資格受講者は動きやすい格好）

## 9 合否判定等

### ○B級資格受講者

筆記試験及び実技試験において8割以上の得点を得た者に実技審査の資格を与える。

また、過去の県大会への活動実績も評価に含む。

### ○C級資格受講者

筆記試験及び実技試験を総合的に評価する。

実技審査については、所属する団体にて実施する。

試験後、審判委員長・副審判長・主事(副主事)及び担当講師で合否判定を行い、本協会常任理事会の承認を受けたのち、本人に通知する。

## 10 その他

(1) この審査会は、本要項の目的にある大会運営を行う審判員の審査会となり、活動を行わない者及び小学校連盟のみの活動者の受講は認めない。

受験者は、事前にルールブックを熟読し十分な実技研修を積む必要がある。

(2) 学科試験は、鹿児島県バレーボール協会審判員会にて準備された試験問題にて実施する。

試験問題は、各友好団体統一した問題(6人制・9人制・ビーチ)で行う。

## 附 則

この要項は、令和6年6月1日より施行する。